

AYU:M (あゆむ) 主催：白鷹町文化交流センターAYU:M (あゆむ)

### 山形若手アーティスト展 vol.9 松崎 綾子「木をみて森をおもう」

2019年3月7日(木)～24日(日) ※月曜休館 9:00～17:00  
会場：白鷹町文化交流センターAYU:M(あゆむ) ギャラリー  
場所：山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331 TEL：0238-85-9071  
料金：一般個人 200円 高校生以下 無料



MAP

Kosyau (こしゃう) 主催：LLPアメフラシ

### 松崎 綾子「木をみて森をおもう -Kosyau ver-」

2019年3月15日(金)～17日(日)、3月22日(金)～24日(日)11:00～16:00  
会場：旧芳文社工場Kosyau (こしゃう)  
場所：山形県長井市十日町1-9-2-1 TEL：0238-76-4179  
料金：無料



MAP

Special Talk 主催：LLPアメフラシ 協力：白鷹町文化交流センター

### トークイベント「地方で絵を描く」 助成：山形若者チャレンジ応援事業

2019年3月9日(土)13:30～  
会場：白鷹町文化交流センターAYU:M(あゆむ) ギャラリー

Speaker



徳山 拓一  
森美術館  
アソシエイトキュレーター



榎田 倫広  
東京国立近代美術館研究員



三瀬 夏之介  
作家/  
東北芸術工科大学教授

### 同時開催 | 第7回そば猪口アート公募展

2019年3月7日(木)～3月24日(日) ※会期中展示入れ替えあり  
会場：白鷹町文化交流センターAYU:M(あゆむ)  
主催：白鷹町文化交流センター、そば猪口アート展実行委員会、安曇野高橋節郎記念美術館  
協力：瀬戸市新世紀工芸館、平成記念美術館ギャラリー、信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会



### 松崎 綾子 | MATSUZAKI AYAKO

1983年千葉県浦安市生まれ。東北芸術工科大学、同大学院を経て、2016年より山形県長井市に移住。  
地域に残る伝統文化・伝統工芸をはじめとした民俗、風土、言語などに興味を持ち、平面作品を中心に制作活動を行う。2015年に結成したアートコレクティブ「アメフラシ」での活動を通じた地域との関わりを自身の作品に反映させている。

### プロフィール | Profile

- 2010 東北芸術工科大学 美術科日本画コース 卒業
- 2012 東北芸術工科大学 修士課程芸術文化専攻日本画領域 修了
- 2016 個展 木をみて森をおもう(画廊くにまつ 青山/東京)  
新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2016-2017」  
(茨城県つくば美術館 つくば/茨城)
- 2018 新進芸術家選抜展FAUSS(アーツ千代田3331千代田/東京)  
夏目漱石生誕150周年「吾輩の猫」展(佐藤美術館 新宿/東京)

### AMEFURASHI アメフラシ

アーティストである村上滋郎の声がかけて結成したコレクティブで、アーティスト、デザイナー、小説家であるメンバーが、山形県長井市を拠点に、互いの特性を生かした新たな価値の創出を模索している。

「アメフラシ」は「雨降って地固まる。」に由来し、雨にたどえた様々なアクションを起こし続ける。

「Kosyau project」では長井市の中心市街地にある廃工場をワークショップ形式でリノベーションを行ったり、「伝統産業継承project」では衰退する伝統産業の継承とサイクルの確立を模索したりしている。地元に残る伝統や文化、衰退する産業を、背後にあるストーリーや問題を踏まえて作品化する。実践と、コミュニティとの交わりの中で、幸せとは？豊かさとは？生きる歓びとは？というような普遍的な欲求について、「問い」を投げかけながら、自分たちがすべき事を考えている。アメフラシとして地域のコミュニティと関わる事で、個人で関わるよりも深くこの地に触れている実感がある。「触れる」広さと「知る」深さは、私の作品に大きな変化をもたらした。

松崎 綾子

Solo Exhibition  
木をみて森をおもう



### MATSUZAKI AYAKO | 松崎 綾子

AYU:M (あゆむ)

2019. 3. 7 Thu — 24 Sun

9:00-17:00 | 休館日 月曜日 一般個人 200円 | 高校生以下 無料

Kosyau (こしゃう)

2019. 3. 15 Fri — 17 Sun. 3. 22 Fri — 24 Sun

11:00-16:00 | 無料



木をみて森をおもう  
33.3 x 24.2 cm  
2016



秘伝豆の頃  
53.0 x 53.0 cm  
2016



問いの顕現  
60.6 x 50.0 cm  
2015



攻防  
91.0 x 91.0 cm  
2017